

核物質防護に関する不適合情報

2022年2月8日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	見張人が、核物質防護上の区域出入口にて、有効期限切れの入構証を提示した作業員の入域を制止した。その後の調査の結果、当該作業員が、過去に有効期限切れの入構証を用いて入域していたことを確認した。入構証の所持者と管理者が有効期限切れに気付かなかったこと、見張人が入構証の有効期限切れを発見できなかったことが原因。 対策として、入構証の所持者と管理者に有効期限の管理を徹底すること、見張人にシステム利用を含めた有効期限確認を厳正に実施することを周知した。 なお、現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2021/12/08	

3. 公表区分Ⅲ 0件

4. 公表区分その他 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	社員より、入構証を紛失したとの連絡があったことから、当該入構証の無効化措置をするとともに、所内に保管管理徹底の注意喚起を行った。 なお、後日、当該入構証は発見され、不正使用された形跡も確認されなかった。	2022/1/18	
2	核物質防護上の門扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該門扉を封鎖するとともに、他の扉での出入りを行った。	2022/01/20	